単語

それだけで意味をもつ最も小さな言葉の単位を**単語**という。

〈文節〉鳥が／青い／空を／飛ぶ。（文節・文節・文節・文節）

〈単語〉鳥／が／青い／空／を／飛ぶ。（単語・単語・単語・単語・単語・単語）

●自立語・付属語

単語は、大きく、自立語と付属語に分けられる。

・**自立語**…単独で文節を作ることができる単語。その単語だけで言葉のイメージが浮かぶことが多い。

・**付属語**…単独では文節を作ることができず、自立語と共に使われる単語。その単語だけでは言葉のイメージが浮かばないことが多い。

（例）鳥（自）が（付）／空（自）を（付）／飛ぶ（自）。　おにぎり（自）を（付）／食べ（自）た（付）。

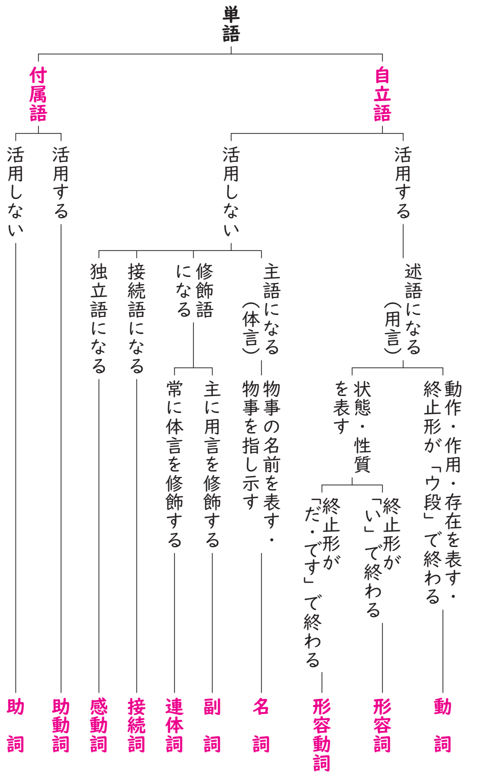
●活用

文中で、言葉の組み合わせに応じて単語の形が変化することを、**活用**という。

（例）
話す＋た　→　話した
明るい＋た　→　明るかった
静かだ＋た　→　静かだった
走ります＋た　→　走りました

●品詞

単語を分類したものを**品詞**という。単語は10種類の品詞に分けられる。



確認テスト

(1) 次の文を単語に分け、斜線(しゃせん)（／）で区切りなさい。

庭 で ス ズ メ が 鳴 く 。

(2) 例に従って、次の文の自立語を□で囲み、付属語に——線を引きなさい。

（例）[鳥]が|[空]を|[飛ぶ]。

私 は 自 転 車 で 駅 に 行 く 。

(3) 次の①〜④の品詞が、自立語なら**ア**、付属語なら**イ**で、それぞれ答えなさい。

① 名詞〔　　〕　② 動詞〔　　〕

③ 助詞〔　　〕　④ 助動詞〔　　〕

(4) 次の文の（　）に当てはまるように、「歩く」という単語の形を変化させなさい。

私は毎朝、公園を（　　）ます。

〔　　〕

(5) 次の文の（　）に当てはまるように、「白い」という単語の形を変化させなさい。

雪で外が（　　）なった。

〔　　〕